



親子でどんぐりぱんをつくってみましょう!

まずははじめに、必要な道具と分量分の材料をすべて用意しましょう。
作り始める前に、レシピをよく読んで、作り方を確認しましょう。



クッキー生地(ぼうし部分)

掲載の分量はすべて、
アルミ菊型2号(30ミリ×30ミリ)8個分です。

A:プレーン生地	B:ココア生地
薄力粉 50g	薄力粉 45g
ベーキングパウダー 小さじ1	ココアパウダー 5g
バター 25g	ベーキングパウダー 小さじ1
三温糖 20g	バター 25g
卵 15g	三温糖 20g
	卵 15g

作り方

※先にクッキー生地を作り冷蔵庫で冷やしておく

1. AとBそれぞれ、室温に戻したバター(もしくは溶かしバター)を泡立て器でかき混ぜ、三温糖(砂糖)を加えたらよく混ぜる。
2. AとBそれに卵を混ぜたら、薄力粉とベーキングパウダーをふるい入れ(Bにはココアパウダーと一緒にふるう)、スケッパーで切るように混ぜたあとは手でまとめる。多少べたついてても、ある程度のかたまりになっていたらOK。【写真1、2】
3. 8×20センチくらいにラップをかたどり、その中にクッキー生地を入れてめん棒で伸ばす。【写真3】
【写真4】の状態で冷蔵庫に入れて10~15分くらい冷やす。
4. 冷蔵庫で冷やし、ベタベタではなくラップからはがれる程度に固まったら、ラップを開いて、2つの生地を重ね【写真5】、ココア生地が外側になるようにして手前からくるくる巻いていく。【写真6】
5. 棒状にしてラップに包んだ状態【写真7】で1時間程度冷やしておく。

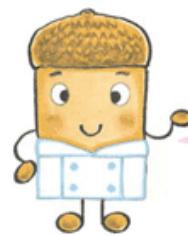


作り方4で、
ひやしあると われちゃうし
ベタベタだと、ラップから
きれいに はがれないわよ





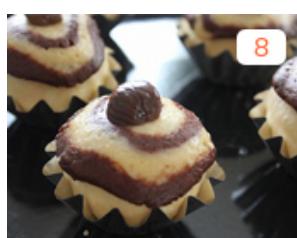
強力粉	250g	卵	50g (M玉1個分)
ドライイースト	5g	牛乳	100cc
三温糖 (普通の砂糖でも可)	40g	くるみ	50g
塩	4g	甘栗	4個～8個
バター	40g	ごま	適量



さあ、
パン生地を
つくるぞ！

作り方

1. ボウルに強力粉、イースト、三温糖、塩、バター、卵を計量。【写真1】
2. 1のボウルの材料に湯せんで人肌程度に温めた牛乳を注ぎ、ダマにならないようにすばやく混ぜ、もみこみ、手についた生地をスケッパーで取りながら、なめらかになるまでしっかりこねる。【写真2】
3. ラップをかけて、約40度で30分おく(一次発酵)。【写真3】
※約40度で30分…オーブンの発酵機能を使うか、生地の入ったボールにラップをして、時々熱めの湯を足しながら湯せん(約20分)に。夏場は室温でもよい。湯せん、室温の場合、時間はあくまで目安で、生地が1.5倍にふくらむまで。
4. 8分割して、それぞれ丸める。
5. 生地にぬれ布巾をかけ10分ほど休ませる。その間にクッキー生地を冷蔵庫から出したら、8ミリくらいの幅にカットする。【写真4】
切り目を上にしたらラップごしに少し伸ばすようにする。【写真5、6】
6. 5の生地に、くるみを入れてまるめ直したら、下部にごまをまぶし、アルミ菊型にどじ目を下にして入れる。その上に、マーブルになったクッキー生地をかぶせる。【写真7】
※くるみは、パン1個に対して6～7gずつ入れる。(×8個)
7. ぬれ布巾をかけ約40度で20分おく(二次発酵)。【写真7】は発酵前のもの。
8. 半分に切ったむき栗を真ん中にのせる。小さい栗であれば半分でなくても良い。
パンとのバランスを見て丁度良い大きさに。【写真8】
9. 予熱した180°Cのオーブンで15分焼く。【写真9】
※予熱に時間がかかる場合は8を冷蔵庫に入れる。



かんぐりほんの
かんせいだよ♪



応用編～ココア色ぼうしの どんぐりぱん～

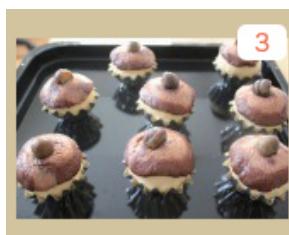
A'：ミルクココア生地 薄力粉 45g
ミルクココアパウダー 5g
ベーキングパウダー 小さじ1
バター 25g
三温糖 20g
卵 15g

応用編で作ると
ほくにそっくいな
どんぐりはんが
できるよ！
いろいろ試してみてね!!



作り方

1. A'(ミルクココア生地)とB(ココア生地)のクッキー生地をそれぞれ作り、冷蔵庫で冷やす。
(クッキー生地の作り方1～3参照)
冷蔵庫から取り出し、B(ココア生地)を外側にして重ねくるくる巻く。【写真1】
棒状にした状態で1時間程度再び冷蔵庫で冷やしておく。
2. パン生地の作り方1～4まで進める。
冷蔵庫で冷やしたクッキー生地を出し、8ミリくらいの幅にカットし【写真2】、切り目を上にしたらラップごしに少し伸ばすようにする。
3. この後は、パン生地の作り方6～8に沿って作る。【写真3】
4. 予熱した180°Cのオーブンで15分焼いたら、応用編・ココア色ぼうしのどんぐりぱん完成！【写真4】



レシピ提供：片山智香子（パン料理研究家）

<http://ameblo.jp/breadqueserasera>